

AI Sensing 合同会社

プレスリリース

2025年12月19日15時

Leopard Imaging は CES 2026 で最新の複数センサーを搭載した Dragonfly シリーズ USB 3.0 YUV カメラを発表し、NVIDIA Holoscan および Jetson Thor 搭載の高解像度 RGB-IR ステレオカメラシリーズ「Eagle」を展示します。

AI Sensing 合同会社は、Leopard Imaging が CES2026 で展示するフィジカル AI 製品群を販売します。



Leopard Imaging の Dragonfly カメラは、コンパクトで高性能なイメージングモジュールのラインで、シームレスなシステム統合を目的に設計されています。直接 USB 3.0 接続に対応するよう設計されており、Dragonfly カメラには最適化された画像品質、リアルタイムパフォーマンス、直接 YUV データ出力を提供する完全統合型のイメージシグナルプロセッサ (ISP) が搭載されており、外部の画像処理が不要です。プラグアンドプレイのアーキテクチャにより、開発者やシステムインテグレーターは複雑なドライバーのインストールや追加処理を必要とせずに、高品質な YUV ビデオストリームにすぐにアクセスできます。内蔵の ISP は、オート露出、ホワイトバランス、色補正を含む一貫した画像調整を保証し、Dragonfly カメラは迅速なプロトタイピング、マシンビジョン、ロボティクス、スマートファクトリー、AI 搭載システムに最適です。

低遅延のイメージングと開発ワークフローの簡素化を目的として設計された Dragonfly シリーズは、USB 3.0 SuperSpeed、UVC 準拠に対応しており、Windows、Linux、NVIDIA Jetson™ プラットフォームとの幅広い互換性を備えています。これらの機能により、多様な照明や環境条件でも信頼性の高い一貫した画像パフォーマンスを維持しながら、迅速な導入が可能です。

幅広いアプリケーションニーズに対応するため、Dragonfly シリーズは複数の解像度、色選択肢、およびシャッター技術（ローリングシャッター、グローバルシャッター、ERS モードなど）を提供しています。現在のラインナップには以下が含まれます：

Dragonfly™シリーズ USB 3.0 YUV カメララインナップ：

- [LI-USB30-AR0830C-YUV-085H](#)

- [LI-USB30-IMX258-YUV-AF-079D](#)
- [LI-USB30-IMX676-YUV-115H](#)
- [LI-USB30-AR0246-YUV-088H](#)
- [LI-USB30-AR0234-YUV-120H](#)
- [LI-USB30-AR1223-YUV-098H](#)
- [LI-USB30-OG05B20-YUV-090H](#)
- [LI-USB30-AR0822-YUV-099H](#)

主な特長

低遅延撮像のための直接 YUV 出力

リアルタイム画像処理と品質向上のための統合 ISP

高速データ転送のための USB 3.0 インターフェイス

幅広いソフトウェア互換性を持つ UVC 準拠

Windows、Linux、NVIDIA Jetson™などでのプラグアンドプレイ対応

システム統合を迅速に行えるコンパクトなフォームファクター

レオパード・イメージングのドラゴンフライカメラは、産業検査、オートメーション、ロボティクス、またはインテリジェントエッジデバイスで使用される場合でも、イノベーションを加速させるために必要な性能、信頼性、効率を提供します。

又、Leopard Imaging Inc.(Leopard Imaging)は、CES 2026において、NVIDIA Holoscan および NVIDIA Jetson Thor 搭載の高解像度 RGB-IR ステレオカメラシリーズ「Eagle」を発表することを喜んでお知らせします。

Leopard Imaging の Eagle シリーズステレオカメラは、世界初の RGB-IR アクティブステレオカメラ「Eagle 2」として、昼夜を問わず深度センシングをサポートし、ロボティクスピジョンにおける大きな進歩をもたらします。Eagle シリーズカメラの主な特徴には、アクティブ IR 照明とドットプロジェクターを備え、昼間、低照度、または暗闇の環境でも安定した深度センシングを実現する、デュアル 5.1MP 自動車グレードグローバルシャッター RGB-IR センサーが含まれます。このカメラは、高精度なイメージングおよび 3D 再構築のために同期 RAW RGB-IR データを出力し、長距離での高帯域幅データ転送を可能にする NVIDIA Holoscan Sensor Bridge に対応しています。

NVIDIA Holoscan プラットフォームは、医療、ロボティクス、産業オートメーションにおけるエッジアプリケーションの加速を目的とした、ほぼリアルタイムの AI コンピューティングソリューションです。センサーと AI モデルの統合をシームレスに行い、ほぼリアルタイムでの洞察と意思決定を可能にします。低遅延のセンサーインターフェース、柔軟な構成、および効率的なイーサネットパケット化に最適化された組み込み NVIDIA Holoscan Sensor Bridge を搭載した Leopard Imaging Eagle シリーズカメラは、次世代ロボティクス向けに設計されており、物理 AI の新しい時代に求められる高度な認識能力、信頼性、低遅延性能を備えています。

NVIDIA Jetson Thor™シリーズは、AI ロボティクス性能の新しいベンチマークを打ち立て、最大 2070 FP4 TFLOPS および 128 GB のメモリを搭載し、高度な生成 AI モデルおよびマルチセンサー認識パイプラインを同時に実行可能です。前世代比で 7.5 倍の AI 計算能力を持ち、3D 環境を瞬時に理解し、安全に反応し、複雑な作業をリアルタイムで遂行する必要があるロボットを強化します。

NVIDIA Jetson Thor プラットフォーム上の Leopard Imaging の Eagle シリーズステレオカメラは、ヒューマノイドロボット、物理 AI、医療および外科システム、AMR、工場の自動化、農業ロボットなど、堅牢な認識能力と超低遅延計算を必要とする用途向けに設計されています。

CES 2026 では、Leopard Imaging は NVIDIA 搭載の複数のイメージングソリューションを展示します。ライブデモをご覧になりたい方は、2026 年 1 月 6 日～9 日にラスベガス・コンベンションセンター北ホール、ブース No.9468 にて Leopard Imaging までお越しください。イベントでのミーティングをご希望の場合は、marketing@leopardimaging.com までご連絡ください。

Leopard Imaging Inc.について

2008 年に設立された Leopard Imaging は、ハイディフィニション組み込みカメラおよび AI ベースの画像処理ソリューションにおける世界的リーダーです。画像処理を向上させるコア技術を専門とし、Leopard Imaging は自動車、航空宇宙、ドローン、IoT、ロボティクスなどさまざまな業界にサービスを提供しています。米国および海外で、OEM(相手先ブランド製造)および ODM(相手先ブランド設計製造)の両方のサービスを提供し、世界中の高い評価を受ける企業向けにカスタマイズされたカメラソリューションを提供しています。NVIDIA のエリートパートナーである Leopard Imaging は、IATF16949(自動車産業向け)や AS9100D(航空宇宙産業向け)などの品質管理認証を取得しており、製品とサービスの最高基準を確保しています。

AI Sensing 合同会社は、これら Leopard Imaging の Eagle をはじめとする製品群の日本市場におけるサポート体制を大幅に強化し、より迅速で効果的なサービスを展開してまいります。

以上